

ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式									
E111B004	発達と教育の心理学 (Developmental and Educational Psychology)															
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員										
必修	2	2	教育学部			氏名 藤田敦、麻生良太 E-mail a-fujita@oita-u.ac.jp, ryoaso@oita-u.ac.jp 内線 7614, 7584										
授業の概要	子どもが自己を確立し、社会的に自立していくまでの発達過程と、その過程において生じる心理的な課題を整理し、学校における学習活動や社会的な経験の意義、学習環境や教師の役割、教育的支援の実際について学ぶ。															
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1	幼児・児童期から青年期までの心身の発達及び学習過程を理解し、心理的側面に必要な教育的支援を構想できる。															
目標2	社会的な自立に至る成長を促す上での教師の役割を理解し、説明することができる。															
目標3																
目標4																
目標5																
目標6																
目標7																
目標8																
目標9																
目標10																
授業の内容																
1	幼児期から青年期に至る発達と教育(麻生)															
2	社会的な自立に関わる発達と課題(麻生)															
3	アイデンティティの生涯発達(麻生)															
4	キャリア形成と生涯発達(麻生)															
5	自己実現・キャリア形成としての学習(麻生)															
6	発達過程と学習過程の評価と課題(藤田)															
7	習得的学力を促す学習法と教材(藤田)															
8	探究的・活用的学力を促す授業づくり(藤田)															
9	問題解決力を育む授業(藤田)															
10	確かな理解と記憶を促す授業(藤田)															
11	言語的活動と学習・記憶の関係(藤田)															
12	主体的・意欲的な学習を引き出す授業づくり(藤田)															
13	学級経営における教師の役割・姿勢・態度(藤田)															
14	自己理解を深め自己肯定感・自己実現を促す教育的支援(藤田)															
15	子どもの発達と教育を支える学校と教師の役割(藤田・麻生)															
ラ ア イ ク ニ テ ン イ グ エ ブ	A:知識の定着・確認 B:意見の表現・交換 C:応用志向 D:知識の活用・創造	具体的な教育場面を想定した問題に対する話し合いや、教育的支援の実際を考える小課題を実施する。				工 夫 そ の 他 の										
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修	現代の子どもの発達や学校教育における課題について関心を持ち、自分なりの考え(教育観、学習観、発達観)を整理しておく。(15h)														
	事後学修	発達や教育に関する自らの考えを、心理学的な視点を加えて再考する。(30h)														
教科書	教科書は使わない。適宜必要な資料を配付する。															
参考書	幼稚園教育要領、小学校学習指導要領、中学校学習指導要領(平成29年3月告示 文部科学省)															
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10				
	期末試験(筆記試験)	70%														
	小課題、グループワーク等	30%														
注意事項	学びを深めるために、講義者から出される発問や課題に対して、積極的に取り組むこと。															
備考																
リンク																
	URL															